

IFSに学ぶ

(内的家族システム療法)

わたしの中のわたしを大切にする方法

トラウマを乗り越えて生き抜くために、わたしたちの中で自然に起こること
“どんなあなたもあなたを助けてたい”

ご自分のことが好きですか?

あまり好きではないですか?

一見、適応的でない行動(学校に行けない、リストカット、オーバードーズ、食べすぎる・飲みすぎる、気分が落ち込む・・・など色々・・・)も、実はあなたを助けています。「こんな自分が好きになれない」「自分のことを受け入れられない」そんな思いはもしかしたらトラウマの影響かもしれません。ご自分のことを理解してあげて、ご自分に対して思いやりを持つことを始めてみませんか? 支援者にとっても、自分やクライアントを理解する良い方法です。

講座概要

この度の公開講座では、オーストラリアでご活躍されているジョージ・クック先生をお招きし、IFS(内的家族システム療法)という考え方を知り、自分に対する思いやりの持ち方を学びます。このお話を聞いた後、きっと少しだけ自分に優しくなれるかもしれません。そして支援者の方達は、解離により生まれるパーツの意味をより詳しく知ることで、複雑な課題を持つ方の支援が、今よりもっとしやすくなるでしょう。



Georgie Cooke

講師紹介

ジョージ・クック先生

ジョージ紹介

ジョージ・クックは臨床心理療法士であり、治療分野において20年以上の経験を持ち、個人開業として14年の実績を持つ。レベル3のトレーニングを受けた認定インターナル・ファミリー・システムズ (IFS) セラピストであり、IFSインスティテュート登録コンサルタント、オーストラリアカウンセリング協会認定臨床スーパーバイザーでもある。トーレンス大学でカウンセリングの修士号を取得し、IFS (インターナル・ファミリー・システムズ) セラピーの創始者であるリチャード・シュワルツ博士による集中対面トレーニングを含め、過去10年にわたりIFSセラピーのトレーニング、アシスタント、指導、コンサルティングを幅広く行ってきた。ここ数年、ジョージは経験豊かな日本人セラピストたちにIFSの指導とコンサルティングを行っており、日本の文化と人々に深い尊敬と感謝の念を抱いている。臨床家がIFSモデルにより自信を持ち、熟練できるようにサポートすることに情熱を持ち、臨床活動においても、指導やコンサルティングのスタイルにおいても、温かく、思いやりがあり、トラウマに配慮した存在感を発揮している。

📅 2025年1月19日(日)

🕒 13:00~16:00 (日本時間)

📍 オンライン開催

定員
95名

対象: 対人援助職(心理職、スクールカウンセラー、医師、看護師、教師、ソーシャルワーカー、保健師、相談員、その他の対人援助職)と一般の方

参加費: 支援者 5000円、一般 1000円

※今回は英語によるご講義ですが、日本語の通訳があります



お申し込みはこちらから (Peatix)

<https://niigata-trauma-koukaikouza-ifs.peatix.com>

お問い合わせ: カウンセリングオフィスVISION 内

新潟トラウマ研究会事務局

営業時間: 9:00~17:00 | Tel: 025-278-3875 | <https://vision-fiw.com>



共催: 新潟トラウマ治療協会 北信越EMDR勉強会 カウンセリングオフィスVISION